

## 令和5年度 第1回加賀市健康福祉審議会 障害者分科会会議録（発言要旨）

※発言内容については、発言趣旨を損なわない程度に変更・修正している箇所があります。

- と き 令和5年7月13日（木曜日）午後1時30分～午後3時10分
- ところ 加賀市市民会館 2階第2会議室
- 出席者 長谷川委員、西野委員、中谷委員、南野委員、大家委員、樫尾委員、永山委員、谷井委員、上野委員、岩尾委員、酢谷委員、佐久間委員、富田委員、宮北委員、篠原委員  
(欠席者) 舞谷委員、安田委員、木戸口委員
- 事務局 (市民健康部) 奥村部長  
(介護福祉課) 篠田課長、金森企画官、西島リーダー、高野リーダー、村中主査  
(相談支援課) 西課長(地域包括支援センター) 東出所長、岡田リーダー  
(子育て応援ステーション) 北口所長

### 次 第 開 会 (午後1時30分)

部長挨拶

委員委嘱

議 事

- (1) 加賀市の障がいのある人（子ども）の状況 資料1
- (2) 第6期加賀市障がい者計画の進捗状況について 資料2
- (3) 第6期加賀市障がい福祉計画・第2期加賀市障がい児福祉計画の進捗状況について 資料3
- (4) 令和5年度障がい福祉施策主要事業の概要について 資料4
  - ①手話施策推進事業
  - ②障がいのある人のテレワーク推進事業
  - ③地域生活支援拠点等整備事業
- (5) じりつ支援協議会の取組み 資料5
- (6) 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて 資料6
- (7) 第7期加賀市障がい福祉計画等策定のためのアンケート調査について 資料7
- (8) 第7期加賀市障がい福祉計画等策定のスケジュール（案）について 資料8

閉 会

### 議事要旨

奥村市民健康部長挨拶

第6期障害者計画・障害福祉計画、第2期障害児福祉計画をもとに、障がい福祉施策の推進に取り組んでいる現計画が今年度をもって満了し、国の方から、直近の障がい保健福祉施策の動向を踏まえた次の計画の策定に当たっての指針が示されている。今年度はこの指針を踏まえ、皆様方のご意見をお聞きし、次期計画がよりよい計画となるよう準備を進めてまいりたいと考えてい

る。そのため例年より会議の開催回数が増えるが、ご協力をお願いしたい。

#### 委員委嘱

委員の交代により新たに中谷委員、大家委員、酢谷委員に委嘱状を交付し、自己紹介。

議事（１） 「加賀市の障がいのある人（子ども）の状況」資料１を説明

議事（２） 「第６期加賀市障がい者計画の進捗状況について」資料２を説明

議事（２）に関する事前質問について説明

「No.1 公共施設のバリアフリー化」

「No.2 自動車運転免許取得・改造助成事業」

「No.3 福祉避難所の円滑設置と運営」

「No.4 障害者優先調達推進法の推進」

当日配布資料の回答のとおり

議事（３） 「第６期加賀市障がい福祉計画・第２期加賀市障がい児福祉計画の進捗状況について」  
資料３を説明

質疑応答（議事（１）から議事（３）までについて）

（榎尾委員）

過去のまちづくり課の回答や今回の土木課の回答から、市としては山代新総湯周辺の点字ブロックの敷設はないということかと思うが、市全体の安心安全のまち作り、誰もが住みやすいまちづくりを謳っているにも関わらず、やはり心のバリアフリーがない、障がい者に寄り添う気持ちがないと懸念される。

また66ヶ所の福祉避難所について、市ホームページや広報等を書いてあるが、各障がい者団体に福祉避難所の説明・パンフレット等、今後きちんとしたものを配布していただきたい。

（事務局）

各担当課にも委員のご意見を伝えたいと思う。

（上野委員）

市内で点字ブロックが整っていて歩きやすいのはどのあたりか。

（榎尾委員）

山中の総湯のお風呂に行くまでのルートや、山中の菊の湯周りの点字ブロックがきちんとしていて、杖をついて点字ブロックの上を歩いていくと自然に菊の湯まで到達する。同様に片山津の総湯も4、5年前に点字ブロックが敷設され、片山津の目の見えない人たちは非常に便利だと言っている。

議事（４） 「令和５年度障がい福祉施策主要事業の概要について」資料４を説明

質疑応答

（篠原委員）

障がい者のテレワーク推進事業について、令和3年度には参加者のうち1人が雇用に結びついたとの報告があるが、令和4年度はどうか。また、今まであった支援機関向け1回、当事者向け1回というセミナーを、今年度は当事者向けだけにしたのはどういう事情からか。

(事務局)

令和4年度の実績は、6名の参加があったが求人の申し込みがなく、残念ながら当市からは結びつかなかった結果となった。令和4年度に行った支援機関向けについては、当市の意見も踏まえた上で株式会社D&Iに依頼しており、今年度は求人にも力を入れたいとの提案から、12月頃にある雇用のシーズンに向け、9月25日に当事者向けセミナーを行い、求人にも結びつけたいと計画している。模擬合同面接会を行い、参加者には自信を持って企業の面接に臨んでいただきたい。また機会があれば支援機関の参加もすすめていきたい。

(篠原委員)

当事者の気持ちで考えると、相談支援等の支援者からすすめられ参加する機会が多いのではないかと思うので、支援事業者向けのセミナーや研修会を設けることで、当事者へすすめるきっかけになるのではないかと考える。

(事務局)

株式会社D&Iと協議していく。

休憩

議事(5) 「じりつ支援協議会の取組み」資料5を説明  
質疑応答 特になし

議事(6) 「第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて」  
資料6を説明

議事(6)に関する事前質問について説明

「No.5 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて」  
当日配布資料の回答のとおり

議事(7) 「第7期加賀市障がい福祉計画等策定のためのアンケート調査について」  
資料7を説明

議事(7)に関する事前質問について説明

「No.6 第7期加賀市障がい福祉計画等策定のためのアンケート調査」  
「No.7 第7期加賀市障がい福祉計画等策定のためのアンケート調査」  
当日配布資料の回答のとおり

議事(8) 「第7期加賀市障がい福祉計画等策定のためのスケジュール(案)について」  
資料8を説明

議事(8)に関する事前質問について説明

「No.8 第7期加賀市障がい福祉計画等策定のスケジュール(案)について」

## 当日配布資料の回答のとおり

質疑応答（議事（6）から議事（8）までについて）

（篠原委員）

アンケート調査について、市職員が当事者団体へ出向いて調査を行うことは可能か。このアンケート調査が大事な基礎資料となるので、これをもとにして次期の福祉計画を作っていただきたい。

（事務局）

希望者には聞き取りによる調査も可能である旨を添書に記載し、相談支援専門員にも協力を依頼したいと考えている。

（篠原委員）

調査対象者が協力を申し出た場合だけ配慮されるということか。

（事務局）

お見込みの通り。

（篠原委員）

それでは回収率は上がらないと思う。日取りを決めて対象者に説明にいき理解してもらうことで、回収率は上がっていくのではないか。そのような努力をしないと、何か届いたがよくわからないと放置される可能性が高いのではないかと心配している。

（宮北委員）

現段階で保護者の方で8月に調査があるということをご存知の方ほどのくらいいるのか。市役所から調査が来ますからぜひご協力お願いします、と案内していいのか。学校として何かできることがあれば教えてほしい。

（事務局）

事前に、調査がある旨の文書を学校、障がい者団体宛に案内したいと思うので、その際には配布をお願いしたい。

（長谷川会長）

アンケートで、精神疾患・精神障がいの対象に自立支援医療の受給者を含めるとのことだが、自立支援医療の受給には障がいは全く無関係で、単にその病気があって通院しないといけないという方に資格がある。不眠症、自律神経失調症、パニック障害等で、この調査を送られてきても無関係だと全く回答しないような気がする。精神障害者保健福祉手帳所持者、もしくは精神障がいのサービスを利用している人、とした方がいいのではないか。

（事務局）

具体的にご相談させていただきたい。

## 事前質問についての説明

「No.9 精神疾患と手帳の等級について」

「No.10 会議の時間とふりかえりの対処について」

当日配布資料の回答のとおり

全体を通しての意見・質疑応答

(樫尾委員)

どんな意見でもかまわないので、この会議においてそれぞれの見解で意見することが障害者分科会のパワーアップ、内容充実にも繋がっていくと思うので、また委員の皆様のご協力をお願いしたい。

閉 会 (午後3時10分)